

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

有明清掃工場<休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
32	TG	停止	H30.9.8	2:08	H30.9.8	13:34			H30.9.11	16:24	TG発電無効電力測定値上限が発報。発電率が50%まで低下状態が続いたため、13時34分蒸気タービンを停止した。
19	2号炉	休炉	H30.6.30	17:41	H30.6.30	18:10	H30.7.17	14:15	H30.7.18	13:40	過熱器出口蒸気流量およびボイラ給水流量に偏差が発生した。その調査のため焼却炉を立ち下げた。

千歳清掃工場 <休炉 2 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
74	1号炉	休炉	H31.3.30	22:29	H31.3.30	23:45					「炉・ボイラ系 炉用C/C PLC 異常発生」が発報し、押込ファン・二次燃焼ファンが停止した。押込ファン・二次燃焼ファンの手動運転を行ったが、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
27	TG	停止	H30.8.7	1:03					H30.8.13	20:52	タービン発電機の、「蒸気タービン発電機軸受台異常振動」の警報が発報し、タービン発電機が停止した。
23	1号炉	休炉	H30.7.25	17:48	H30.7.25	19:35	H30.8.3	19:53	H30.8.4	17:07	No.2ボイラダストコンベヤが過トルクにより停止した。現場にて正逆転を試みたが、動作不能であったため運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。

江戸川清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	1号炉	休炉	H31.3.1	0:00	H31.3.13	11:00	H31.3.21	14:29	H31.3.22	11:29	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管部)の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。
53	2号炉	休炉	H30.12.23	11:47	H30.12.23	18:56	H31.1.24	14:58	H31.1.25	9:55	蒸気流量およびボイラ給水流量に偏差が発生した。その調査のため焼却炉を立ち下げた。
48	2号炉	休炉	H30.11.6	0:00	H30.11.17	14:04	H30.12.19	15:58	H30.12.20	10:23	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管部)の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。そのまま中間点検に入る。
6	ごみク	停止	H30.5.11	4:30					H30.5.15	16:00	TV監視時、1号ごみクレーンのキャブタイヤケーブルのたるみを発見した。現場確認したところ、ケーブル巻上げ用の中間軸ユニットの部品が破損しており、巻上げができない状態であった。クレーンを1番ゲート側に寄せて使用を停止した。

墨田清掃工場 <休炉 0 >

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

北清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
31	1号炉	休炉	H30.8.16	19:00	H30.8.31	13:29	H30.9.6	15:30	H30.9.7	10:35	No.2灰コンベア水中軸受にて異音が発生しており、グリス注入にて経過観察していたが、補修の必要があるため立ち下げた。
22	1号炉	休炉	H30.7.21	11:46	H30.7.21	15:15	H30.8.9	20:30	H30.8.10	11:37	焼却炉立上げ行程中に炉内圧力が安定しなかった。誘引ファン回転数制御装置にて不具合のおそれがあり、調査するため立ち下げた。
16	1号炉	休炉	H30.6.25	11:00	H30.6.25	20:00	H30.7.20	20:32	H30.7.21	11:18	No.1反応蒸発塔下部にて灰の排出が見られなかった。下部ホツパにて閉塞のおそれが

新江東清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
66	2号炉	休炉	H31.2.15	10:00	H31.2.15	14:00	H31.2.26	18:33	H31.2.27	18:00	脱気器の安全弁より蒸気漏れが発生した。安全弁内に異物等の噛み込みを疑い、ハンドブローを実施したが蒸気漏れが止まらないため、焼却炉を立ち下げた。
63	2号炉	休炉	H31.2.8	20:06	H31.2.8	21:32	H31.2.12	18:33	H31.2.13	17:27	No.2ごみクレーンが2号炉ごみホツパ付近のごみバンカー内に着床している状態で、故障により動かなくなった。2号炉にごみを投入することができないため、焼却炉を立ち下げた。
62	ごみクレーン	停止	H31.2.4	15:00					H31.3.9	17:00	No.3ごみクレーン操作時、ワイヤー巻上げ後N(ニュートラル)位置でブレーキがかからずそのまま落下した。原因調査のため、No.3ごみクレーンを停止した。
59	1号炉	休炉	H30.12.3	20:00	H31.1.14	21:00	H31.1.18	18:50	H31.1.19	16:31	ストブロー主蒸気止弁が自動で開かなかつた。その後の手動操作により開閉するようになった。しかし、日数が経つにつれて動作不良回数増加しているため、調査のために焼却炉を立ち下げる。
58	2号炉	休炉	H31.1.10	14:30	H31.1.12	21:00	H31.2.7	18:33	H31.2.8	16:55	運転系の日常点検時、2号炉蒸気式ガス再加熱器本体より白煙が出ていた。蒸気漏れの可能性があり、調査のため焼却炉を立ち下げる。そのまま中間点検に入る。
13	ごみクレーン	停止	H30.6.7	12:35					H30.7.28	17:30	「No.1ごみクレーン横走行電源盤 漏電」警報が発報した。確認したところ、No.1ごみクレーン横行用の給電ケーブルが断線していたため、ごみクレーンを停止した。

港清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
68	1号炉	休炉	H31.2.21	15:30	H31.2.21	17:00					1号FDFから異常振動音が確認されたため、焼却炉を立ち下げる。
43	1号炉	休炉	H30.11.15	10:15	H30.11.15	13:00	H30.12.6	15:06	H30.12.7	20:00	1号焼却炉から異音を確認されたため、焼却炉を立ち下げる。
25	ごみクレーン	停止	H30.8.1	1:00					H30.8.4	12:00	ごみクレーン乱巻き警報が発報したため、現場確認をしたところ、ワイヤロープのストランドが切れていた。ワイヤロープ交換のため停止した。
18	2号炉	休炉	H30.6.30	15:00	H30.6.30	16:40	H30.7.1	15:48	H30.7.2	8:30	2号炉煙突入口4成分排ガス分析計が故障したため、調査・補修のため焼却炉を立下げた。
7	ごみクレーン	停止	H30.5.18	11:30					H30.5.21	10:00	2号ごみクレーンのケーブルリール温度上昇の警報が発報したため、現場確認をしたところ、冷却ファンが停止していた。調査のため2号ごみクレーンの運用を停止する。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

豊島清掃工場 < 休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
64	1号炉	休炉	H31.2.9	18:30	H31.2.9	22:01	H31.2.14	16:40	H31.2.15	0:08	運転班の日常点検時、1号ボイラ側壁(左)下部管寄せ付近より漏水跡を発見した。調査・補修するため焼却炉を立ち下げた。
61	2号炉	休炉	H31.1.29	10:30	H31.1.29	14:41	H31.1.29	15:44	H31.1.29	17:02	運転班の日常点検時、2号誘引ファン入口ダンパ駆動用リンクピン(6本中1本)の折損を発見。補修のため焼却炉を立ち下げた。
34	2号炉	休炉	H30.9.30	1:18	H30.9.30	1:18	H30.10.17	17:46	H30.10.18	1:44	2号炉二次押込ファン過電流により、二次押込ファン用リアクトル起動盤の配線用遮断器(MCCB)が動作し、焼却炉が非常停止した。
29	2号炉	休炉	H30.8.26	8:07	H30.8.26	9:33	H30.8.27	14:44	H30.8.27	21:01	2号炉二次押込ファン入口ダンパが、DCS監視画面上の『開』表示に関係なく、全閉のまま自動動作をしなくなった。二次空気の調整が出来なくなり、安定燃焼の継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
1	ごみクレーン	停止	H30.4.20	14:00					H30.4.26	16:15	2号ごみクレーンの月例点検中に巻上ドラム軸受の損傷を確認したため、クレーンの使用を停止した。

渋谷清掃工場 < 休炉 2 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
55	1号炉	休炉	H30.12.31	4:11	H31.1.2	9:41	H31.1.4	21:10	H31.1.5	10:04	不燃物排出装置の不燃物閉塞により、運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
47	1号炉	休炉	H30.10.8	9:00	H30.11.17	2:00	H30.12.1	20:49	H30.12.2	8:24	減温装置の閉塞により、炉内圧制御が困難となったため焼却炉を立下げた。

中央清掃工場 < 休炉 2 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
69	1号炉	休炉	H31.2.21	11:00	H31.2.23	17:00	H31.3.1	15:20	H31.3.2	20:59	ボイラ灰搬出装置内部からの異音を発見、異物の噛みこみが疑われる。調査補修のため焼却炉を立ち下げた。
20	2号炉	休炉	H30.7.6	12:30	H30.7.6	22:00	H30.7.16	15:00	H30.7.17	14:34	ボイラ蒸気流量およびボイラ給水流量に偏差が発生した。その調査のため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

板橋清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	ごみクレ	停止	H30.12.10	14:00					H30.12.19	11:30	点検時に、No.3ごみクレーンワイヤーロープ下部クリップ止めに緩みが発見されたため、ごみクレーンの使用を停止した。
46	2号炉	休炉	H30.11.6	9:00	H30.11.16	12:00	H30.11.22	16:56	H30.11.23	12:24	2号焼却炉ストーカ下ホップシュートが閉塞した。運転継続困難なため、2号焼却炉を立ち下げた。
42	1号炉	休炉	H30.11.6	9:00	H30.11.9	0:00	H30.11.14	16:03	H30.11.15	10:33	1号焼却炉ストーカ下ホップシュートが閉塞した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。
36	1号炉	休炉	H30.10.6	5:56	H30.10.6	8:04	H30.10.8	15:29	H30.10.9	10:45	1号焼却炉灰押し装置油圧ホースより油漏れが発生した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。
33	1号炉	休炉	H30.9.8	6:31	H30.9.10	12:54	H30.9.18	15:30	H30.9.19	12:28	1号焼却炉アンモニア気化装置から流量計の手弁フランジよりアンモニアが漏洩した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
54	ごみクレ	停止	H30.12.23	16:45					H30.12.26	10:20	運転係にてA号ごみクレーン日常点検中にワイヤロープのストランドが損傷しているの確認したため、A号ごみクレーンを停止した。
35	2号炉	休炉	H30.10.1	17:30	H30.10.1	22:00	H30.10.3	23:01	H30.10.4	15:27	後燃焼ストーカ(2)上に主灰が徐々に堆積しているのを発見し、後燃焼ストーカ(2)が動作していないことを確認した。焼却炉の運転継続が困難であり調査のため、焼却炉を立ち下げた。
41		休炉	H30.11.4	15:29	H30.11.4	15:42	H30.12.27	7:00	H30.12.28	9:32	スラグ搬出コンベヤの油圧モーターより作動油漏れがあり、当該コンベヤを停止した。スラグが搬出できなくなったため、熔融炉を立ち下げた。
26		休炉	H30.8.3	15:00	H30.8.4	10:00	H30.8.21	7:00	H30.8.22	9:10	灰熔融炉の排ガス中のばいじん濃度が上昇した。灰熔融炉用集じん器の調査のため、灰熔融炉を立ち下げ

足立清掃工場 <休炉 8 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
67	2号炉	休炉	H31.2.18	8:05	H31.2.18	9:14	H31.2.25	15:08	H31.2.26	10:03	No.1自工場主灰コンベヤのトリップが発生し、調査した結果、脱落した火格子1枚が噛みこんでいることを確認した。このため焼却炉を立ち下げた。
52	2号炉	休炉	H30.12.22	16:49	H30.12.22	23:30	H30.12.24	18:15	H30.12.25	10:41	主灰ホップブリッジ発報し灰押し装置停止。灰押し装置を再稼働しようと試みたが動作せず。灰押し装置に異物の噛み込みの可能性があり、調査のため焼却炉を立ち下げた。
39	1号炉	休炉	H30.10.19	20:54	H30.10.20	3:10	H30.10.24	16:31	H30.10.25	8:27	No.2自工場主灰コンベヤトリップ停止、コンベヤチェーン破断を確認。復旧が見込めなかったため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
37	1号炉	休炉	H30.10.13	22:23	H30.10.14	9:30	H30.10.16	20:56	H30.10.17	12:32	No.2自工場主灰コンベヤトリップ停止、コンベヤ従動軸側スプロケットよりチェーン外れを確認。コンベヤに異物の噛み込みがあり復旧が見込めなかったため、焼却炉を立下げた。
28	2号炉	休炉	H30.8.20	2:31	H30.8.20	6:28	H30.8.29	15:30	H30.8.30	9:15	No.3燃焼ストーカ下シュート先のコンベヤ内部で未燃物が確認されたので、調査のため焼却炉を立ち下げた。
17	1号炉	休炉	H30.6.29	15:00	H30.6.29	17:40	H30.7.16	11:49	H30.7.17	3:16	蒸気式ガス再加熱器からの蒸気漏れが疑われるため、調査のため焼却炉を立ち下げた。
15	2号炉	休炉	H30.6.24	18:23	H30.6.24	19:40	H30.7.2	11:36	H30.7.3	6:12	乾燥ストーカ下シュート先のコンベヤ内部で未燃物が確認されたので、調査のため焼却炉を立ち下げた。
3	1号炉	休炉	H30.4.24	13:00	H30.4.27	22:08	H30.5.24	15:59	H30.5.25	11:52	蒸気式ガス再加熱器からの蒸気漏れが疑われるため、調査のため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま中間点検に入る。

品川清掃工場 <休炉 0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
14	ごみクレ	停止	H30.6.10	17:03					H30.6.15	15:00	No.2ごみクレーンを巻き上げる際にインバータトリップが頻発し、運転が出来ない状態になった為、クレーン使用を停止した。

葛飾清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
65	2号炉	休炉	H31.2.11	9:30	H31.2.11	11:32	H31.2.21	20:20	H31.2.22	11:46	2号第1ボイラダストコンベヤ機器異常が発報した。現場にて繰返しインテング操作を行ったが改善せず、復旧が見込めないため2号焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	H30.6.2	10:43	H30.6.2	10:43	H30.6.2	11:30	H30.6.2	14:22	計装用空気脱湿装置補修作業時に、稼働中の脱湿装置が停止した。そのため、計装用空気圧力下下限が発報し、1号焼却炉が非常停止した。
60	1号炉	休炉	H31.1.25	11:09	H31.1.25	11:53			H31.2.24	11:44	スラグ出滓口シュートが閉塞したため、溶融炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

世田谷清掃工場 <休炉 6 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
57	ごみクレ	停止	H31.1.5	16:32					H31.1.9	15:00	1号ごみクレーンのバケットが開閉動作不能となった。格納位置まで移動させ、使用を停止した。
56	2号炉	休炉	H31.1.5	11:42	H31.1.5	18:02	H31.1.31	20:43	H31.2.1	10:47	燃焼溶融炉流下口がスラグにより閉塞した。スラグバーナを運転し解除を試みたが改善しないため、焼却炉を立ち下げた。このまま中間点検に入る。
50	2号炉	休炉	H30.12.5	1:39	H30.12.5	2:35	H30.12.6	20:28	H30.12.7	8:35	制御系ネットワークがノードダウンし、共通システムのDCS表示が見られなくなった。運転継続が困難となり、2号炉を立ち下げ
49	1号炉	休炉	H30.11.28	18:32	H30.11.28	23:57	H30.12.6	14:25	H30.12.7	3:48	不燃物排出装置で不適物がつまり、砂等排出が困難となった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
45	2号炉	休炉	H30.11.15	19:26	H30.11.16	9:17	H30.11.24	20:48	H30.11.25	10:54	砂分級装置ルーバー下シュート部に不適物がつまり砂の排出が困難となり、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
24	1号炉	休炉	H30.7.22	0:30	H30.7.27	10:04	H30.8.8	20:45	H30.8.9	9:59	燃焼溶融炉バツフルの差圧が、スラグ及びクリンカ付着により上昇傾向となり、運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
21	ごみクレ	停止	H30.7.16	11:48					H30.7.21	16:00	2号ごみクレーンのバケット開閉給電ケーブルが移動中に破断した。格納位置まで移動させ、使用を停止した。
9	2号炉	休炉	H30.5.19	17:15	H30.5.19	22:00	H30.5.28	19:57	H30.5.29	8:45	砂分級装置ルーバー下シュート部に不適物がつまり砂の排出が困難となり、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた

大田清掃工場 <休炉 0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
70	ごみクレ	停止	H31.2.6	10:00					H31.3.7	17:00	ごみの掴み圧力が弱くなったことでNo. 2ごみクレーンのごみ投入量が低下し、「バケット開閉タイマ処理」警報が多発するようになった。油圧調整をしても復旧せず、油圧ポンプの不具合が疑われるため、No. 2ごみクレーンの使用を停止した。
5	ごみクレ	停止	H30.5.10	7:08					H30.5.17	16:00	No. 1ごみクレーンの開閉装置異常(インバータ)出力過電流の警報が発報し、バケットの開閉ができなくなった。原因調査のため、ごみクレーンを停止した。

練馬清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
73	ごみクレ	停止	H31.3.24	6:50							No.2ごみクレーンを手動運転中、「バケットMCB・サーマルトリップ」が発生しクレーンバケットの開閉が出来なくなった。故障機を格納位置に退避させ、使用を停止した。
40	2号炉	休炉	H30.10.27	0:43	H30.10.27	6:50	H30.12.20	15:09	H30.12.21	13:32	2号炉No.1灰コンベヤのコンベヤチェーンが破断しているのを確認。チェーンの補修のため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」2018年度(平成30年度)

練馬清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
11	2号炉	休炉	H30.5.25	5:06	H30.5.25	9:15	H30.5.28	15:17	H30.5.29	11:47	2号炉No3灰コンベヤのコンベヤチェーンが破断しているのを確認。チェーンの補修のため焼却炉を立ち下げた。
8	1号炉	休炉	H30.5.7	10:00	H30.5.18	15:30	H30.5.23	15:15	H30.5.24	11:48	1号炉ボイラ下ホッパより灰の漏洩を確認。漏洩箇所の補修のため焼却炉を立ち下げた。
4	1号炉	休炉	H30.4.28	11:45	H30.4.28	16:30	H30.5.2	14:15	H30.5.3	10:47	1号炉乾燥段ストーカ下シュートよりストーカ循環水の漏洩を確認。漏洩箇所の特定及び補修のため焼却炉を立ち下げた。

杉並清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
72	TG	停止	H31.3.1	18:00					H31.3.18	16:34	タービン立上げ完了時に通常より多く蒸気漏れが発生していたため、調査した結果、主蒸気止め弁と加減弁の接続フランジ部より蒸気漏れを確認し、補修の為、タービンを立ち下げる。
44	1号炉	休炉	H30.11.16	6:00	H30.11.16	7:08	H30.11.23	15:23	H30.11.24	12:50	1号炉主灰シュートが閉塞したため、焼却炉を立下げた。
38	ごみクレ	停止	H30.10.16	11:30					H30.10.18	12:00	1号ごみクレーンバケットの油圧ホースに亀裂が発生し、作動油が漏れた。油圧ホースは交換したが、作動油が不足しているため、クレーンを停止した。
30	2号炉	休炉	H30.8.26	14:04	H30.8.26	15:39	H30.8.29	15:11	H30.8.30	14:18	2号No.2灰コンベヤの過負荷が発生し、コンベヤチェーンが破断した。そのため、焼却炉を立下げた。
10	1号炉	休炉	H30.5.20	2:02	H30.5.20	3:02	H30.5.25	15:08	H30.5.26	12:49	1号No.2灰コンベヤの過負荷が発生し、コンベヤチェーンが破断した。そのため、焼却炉を立ち下げる。
2	1、2号炉	休炉	H30.4.23	8:21	H30.4.23	8:23	H30.5.11	15:10	H30.5.12	13:29	計装用空気圧力下限により1,2号焼却炉及び蒸気タービンが緊急停止した。

平成30年度 故障による休炉 56件、停止18件